



2023年2月7日

各 位

会 社 名 シュッピン株式会社
代表者名 代表取締役社長CEO 小野 尚彦
(コード番号：3179 東証プライム)
問 合 せ 先 取締役上席執行役員CFO 澤田 龍志
(TEL. 03-3342-2944)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の臨時取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年5月11日に公表しました「2023年3月期の通期業績予想」及び2022年11月8日に公表いたしました「2023年3月期（第18期）配当予想の修正に関するお知らせ」を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2023年3月期通期（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	48,259	3,506	3,476	2,398	114.35
今回修正予想（B）	44,602	2,320	2,300	1,587	76.26
増減額（B－A）	△4,657	△1,186	△1,176	△811	
増減率（％）	△9.5	△33.8	△33.8	△33.8	
（ご参考）前期実績 （2022年3月期）	43,453	3,140	3,187	2,207	102.58

2. 期末配当予想の修正

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 （2022年11月8日発表）	円 銭 —	円 銭 35.00	円 銭 35.00
今回修正予想	—	30.00	30.00
当期実績	0.00		
前期実績 （2022年3月期）	0.00	28.00	28.00

3. 修正の理由

(業績予想)

2023年3月期の業績予想につきまして、主力のカメラ事業においては、タイムリーな買取・販売価格の変更を可能とした「AIMD」や、当社が保有する記事コンテンツを顧客毎に適切に配信する「AI コンテンツレコメンド」等、AI 技術を駆使した EC 上の仕組み化等の効果もあり、順調に推移しております。

一方、当社第2位の売上セグメントである時計事業においては、昨年春以降、高級時計でも人気の高いロレックスやパテックフィリップ、オーデマピゲ等の価格が全世界的に下落が継続しており、外部環境の悪化が顕著となっております。特に、ロレックス等の人気商品においては、通年をとおして30%強の下落となりました。これらは、中国主要都市のロックダウンから始まり、コロナ後を見据えた諸外国の中央政府による金利引き上げに伴うインフレ進行と景気減速、暗号資産の急落、株価変動等も大きな要因となり、以前は希少でありました中古時計が流通市場に大幅に供給されたことにより、需給のバランスが崩れ急激な価格の押し下げ原因となっております。この間、当社としても適切な販売価格の見直し、時計在庫の見直しを適宜推し進めておりましたが、当社における最大の商戦期である12月を含む第3四半期(10~12月)を終えた段階で、時計事業において、引き続き時計在庫の大幅な見直しが必要との判断のもと、当初計画しておりました売上高および売上総利益を達成する見通しを立てることが出来ない状況となりました。また、業績予想修正の要因となりました時計事業においては、第4四半期(1~3月)においても価格相場は回復しないという保守的な外部環境予想のもと、在庫の入れ替えを考慮し、業績予想を見直しております。

以上により、2023年3月期通期の業績予想を修正することに致しました。

(期末配当予想)

当社は、株主各位に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しております。配当につきましては、当期・中長期の業績見通し、将来の事業展開および内部留保を総合的に勘案した上で、25~35%の配当性向を当面の基準としております。2023年3月期末における業績予想は上記記載させて頂きました通り、当初計画しておりました業績を達成する見通しを立てることができないことを踏まえ、配当予想の修正をいたします。

(注) 上記の業績予想及び配当予想は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績および配当予想は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上